

# SCIEX OS 2.1.6 リリースノートの追補



## はじめに

この追補はSCIEX OS 2.1.6ソフトウェアのリリースノートへの追加です。

## 要件

ExionLC 2.0システムをサポートするには、SCIEX OS 2.1.6のソフトウェアインストールガイドに記載されている要件に加え、以下が必要とされます。

- VC++2008 SP1 MFCセキュリティ再配布可能パッケージ  
この再配布可能パッケージが存在しない場合は、インストールプログラムによってインストールされます。削除しないでください。これを削除すると、ExionLC 2.0システムを使用したときにSCIEX OSが正しく機能しなくなります。

---

注： C:\Program Files (x86)\Common Files\SCIEX\LLDriverフォルダ内のファイルは、AnalystソフトウェアとSCIEX OSによって共有されます。どちらのプログラムをアンインストールしても、ファイルは削除されません。これらは、AnalystソフトウェアとSCIEX OSの両方がアンインストールされた場合にのみ削除されます。

---

## バージョン2.1.6での新しい機能と改良点

- SCIEX OS 2.1.6はExionLC 2.0システムをサポートしています。  
ExionLC 2.0システムを使用するための詳細な説明は、*ExionLC 2.0システムソフトウェアユーザーガイド*を参照してください。ドキュメントは[sciex.com/customer-documents](http://sciex.com/customer-documents)で利用できます。

## 使用上の注意と既知の問題

### 使用上の注意

次の注意事項はSCIEX OSをExionLC 2.0システムで使用している場合に適用されます。

- 溶媒レベルモニターを使用している場合は、現在のボリュームが正しいこと、および適切な警告レベルとシャットダウンレベルが各バッチ取得の前にDevice ControlまたはDevice Detailsダイアログで設定されていることを確認してください。移動相の補充のためにサンプル測定中に現在の容量を更新する必要がある場合は、Device DetailsダイアログにあるポンプのSolvent Levelsパネルで更新します。
- サンプルトレイをセットする際には、必ずソフトウェアのプレートレイアウトに従うか、ハードウェアユーザーガイドを参照してください。
- Diode Array Detector (DADまたはDAD-HS) は、Multiwavelength detector (MWD) と同時にデータ収集に使用することはできません。DADとMWDの両方でLCシステムを構成しないでください。
- ExionLC 2.0 DAD (DADまたはDAD-HS)、およびMWDでは、10Hz以下のサンプリングレートのみがサポートされます。サンプリングレートが10Hz以上のLCメソッドは保存されません。
- DADを使用するシステム用にLCメソッドを作成する際には、3Dデータモードを選択していない場合でも、2Dデータチャンネルの波長および波長プログラムの波長が、3Dデータモードで定義された波長範囲内であることを確認してください。
- 前処理オプション中の**Use first destination vial**が設定されているLCメソッドがバッチに含まれている場合、そのバッチを再度実行する前、または同じLCメソッドを別のバッチで使用する前に、最初の目的バイアルの位置をリセットする必要があります。システムの状態がスタンバイに変わったときや、ハードウェアプロファイルを無効および有効にしたときに自動的にリセットされます。また、ユーザーは以下の方法で最初の目的バイアルの位置をリセットできます。
  - LC Integrated System Detailed StatusウィンドウのAutosamplerペインの**Reset vials** (🔧)をクリックします。次に、**Reset destination vials**を選択します。
  - 1つのサンプルを含むバッチで、最初の別な目的バイアルの位置を使用して送信します。

前処理に**Use first destination vial** (FDV)が選択されている場合は、最後の目的のバイアル位置(LDV)が、選択されたラックタイプとバッチに含まれるサンプル数(n)に対して有効であることを確認してください。それ以外の場合、バッチ取得は、無効な目的バイアル番号を持つサンプルで停止します。目的バイアルの位置は、常に前のサンプルの目的バイアルの位置に1を加えたものに等しくなります。

サンプル1、2、3、4の場合、目的バイアルの位置はそれぞれFDV、FDV+1、FDV+2、FDV+3となります。バッチに含まれるサンプル数が30で、バイアル位置が11~40、FDVが2×48バイアルラックで51の場合、 $LDV = FDV + n - 1 = 51 + 30 - 1 = 80$ となります。

---

注：予測されるすべての目的バイアルの位置にバイアルが存在することを確認してください。

---

## ExionLC 2.0システムの問題

問題	注意事項
Plate Layoutダイアログが開いているときにBatchワークスペースで <b>Rack Type</b> を変更すると、Plate Layoutウィンドウで <b>Rack Type</b> が更新されません。 (ONYX-8760)	BatchワークスペースでPlate Layoutダイアログが開いているときにユーザーがバッチグリッドで <b>Rack Type</b> を変更すると、Plate Layoutのバイアルレイアウトの視覚的表現は更新されますが、 <b>Rack Type</b> フィールドは更新されません。ただし、 <b>Rack Type</b> および <b>Vial Position</b> を含むバッチ内のすべての情報は正しいです。この問題を回避するには、バッチグリッドで <b>Rack Type</b> を変更する前に、Plate Layoutダイアログで <b>Rack Type</b> を変更するか、Plate Layoutダイアログを閉じてください。
Device Detailsダイアログの複数のインスタンスを同時に開くことができます。 (ONYX-9049)	デバイスの構成を変更したときに[Device Details]ダイアログが開いていると、新しい構成で[Device Details]ダイアログの別のインスタンスを開いた後でも、古い構成の[Device Details]ダイアログが開いたままになります。この問題は、使用方法に影響を及ぼしません。ただし、混乱を避けるために、デバイス構成を変更する前に、開いている[デバイスの詳細]ダイアログをすべて閉じてください。
変更を行ったときにSolvent Levelsパネルがすぐに更新されません。 (ONYX-9093)	溶媒レベルパネルでパラメータを変更した後、ステータスが更新されるまで5秒待ってから、追加の変更を行います。

## ExionLC 2.0システムでサポートされているデバイスモデルとファームウェアバージョン (ROM)

SCIEX OS 2.1.6は、以下の表に記載されているすべてのデバイスをサポートしています。デバイスの設定については、[装置セットアップガイド](#)を参照してください。

表 5-1 ファームウェアのバージョン

デバイス	モデル	テスト済みのファームウェア	必要な通信ケーブル
LPG Pump	LPGP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump	BP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump+	BP-200+	1.01	Ethernet

表 5-1 ファームウェアのバージョン (続き)

デバイス	モデル	テスト済みの ファームウェア	必要な通信ケーブル
Autosampler	AS-200	1.22	Ethernet
Autosampler+	AS-200+	1.22	Ethernet
Column Switching (バルブ 駆動)	DR-200	6.20	Ethernet
Column Oven	CO-200	2.02	Ethernet
Multiwavelength Detector	MWD-200	1.11	Ethernet
Diode Array Detector	DAD-200	1.11	Ethernet
Diode Array Detector - HS	DADHS-200	1.24	Ethernet
Wash System	WS-200	1.14	Ethernet

ほとんどの場合、装置メーカーからの最新ファームウェアバージョンは、SCIEX OS 2.1.6で機能します。問題が発生した場合は、この表にリストされているデバイスファームウェアを使用してください。ファームウェアの検証と更新については、SCIEXが提供するドキュメントを参照してください。

本書はSCIEX機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部を複製することは、SCIEXが書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アSEMBル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのためSCIEXにより供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEXの保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、またSCIEXの唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEXは、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとし

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および/または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および/またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です (sciex.com/trademarksを見てください)。

AB SCIEX™ はライセンスの下で使用されています。

© 2021 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.



AB Sciex Pte. Ltd.  
Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3  
Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256